

Le Akikogramme

Jeudi 18 juillet 2019 <https://bretagnephotos100.travel.blog>

Instagram @nekosan_japan

Locronan

静かな祈りに包まれる街



Quimperから車で約20分のところにある小さな村Locronanは「Les Plus Beaux Villages de France」に登録された石造りの古い家並みが残る美しい村です。

この村は17,18世紀に織物に使う亜麻の栽培と船の帆布の生産で栄えたと言われています。

Locronanにキリスト教を伝えたのは、アイルランドから来た聖ロナンといわれ、ロクロナンとはロナンの土地 (locus de Ronan) を意味し、その名がついたとされます。



きょう、なに食べたい？

Gâteau Breton

(ガトー・ブルトン)

ホストファザーのお母様の手作りガトー・ブルトン。

有塩バター・小麦粉・砂糖・卵などを使った焼き菓子で焼成前にフォークで表面に格子模様をつけ、食べる時はこの格子に沿って菱形にカットしていただきます。

Grande Troménie



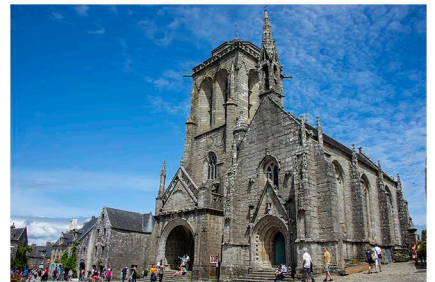
フランスで唯一残るパルドン祭は、ブルターニュの町や村で中世から行われてきたキリスト教の祭りです。

Locronanではパルドン祭にあたるTroménie (トロメニ) が開催されますが、他のブルターニュの地域とは異なり、毎年7月の第2日曜日にLa petite Troménieが、また6年ごとに7月第2日曜日と第3日曜日の間にLa grande Troménie (2019年7月14日-21日、次回は2025年予定) が開催されます。

Troménieはブルトン語のtro minihyから由来し、troはtour、minihyはterritoire monastiqueで修道院領地を1周する巡礼を意味します。聖ロナンの遺骸が通った同じ道を巡礼することによって、巡礼者は「許しを得る」という意味があり、La petite Troménieでは6km、La grande Troménieでは12km、民俗衣装を身に着けた人々が十字架や旗、聖人の像を持って行進します。

トロメニのルートには聖人の彫像を枝や花で飾った小屋が立てられ、それぞれの小屋には民族衣装を身に着けた村人がこれらの像を紹介しています。

Église Saint-Ronan



Locronanの中心にある聖ロナンを祀る15世紀に建てられた教会。



Chapelle Notre-Dame-de-Bonne-Nouvelle



15世紀に建てられた礼拝堂で、敷地内にカルヴェールと噴水があります。

